

第六次総合計画
前期基本計画

基本目標別計画

2

自然と都市が調和した
うるおいのあるまち



自然・環境 政策



1 ゼロカーボンシティかごしまの推進

施策の目標 地球温暖化対策に協働・連携して取り組み、CO₂排出実質ゼロを目指します！

現状と課題

地球温暖化による気候変動リスクの深刻化

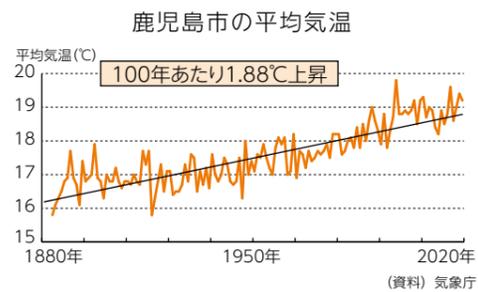
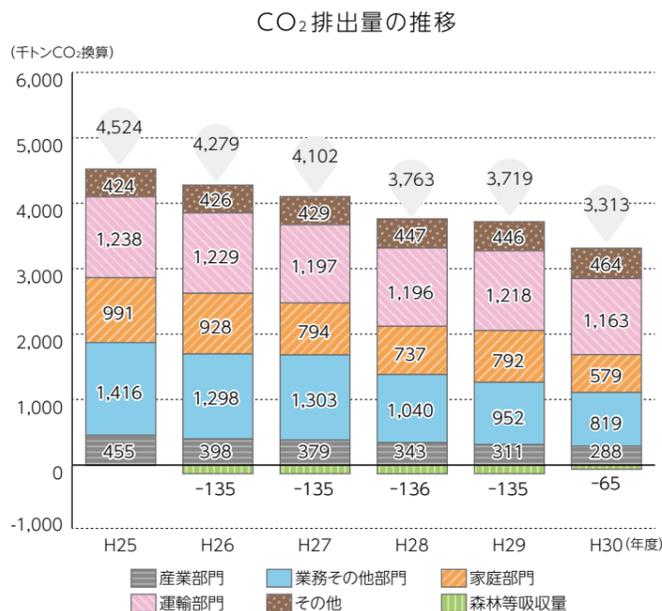
- 近年、猛暑や豪雨など、異常気象による災害が増加しており、世界的に「気候危機」と呼ばれるほど切迫した状況にあります。
- 気候変動の影響により、自然災害、健康や農作物への被害が懸念されており、それらに備える対策の必要性が高まっています。
- パリ協定※1などの国際的な潮流を踏まえ、2050年までにCO₂排出量を実質ゼロにする都市の実現に向け、市民や事業者等と一体になって取り組む必要があります。

持続可能なエネルギーへのシフト

- 私たちの生活に欠かせないエネルギーは、依然としてCO₂を排出する化石燃料に大きく依存しています。
- 東日本大震災や大型台風による停電等を契機に、大規模発電所に頼らない、エネルギー供給源の分散化が課題となっています。
- それぞれの地域で消費するエネルギーを、CO₂を排出しない持続可能なエネルギーへシフトすることが求められています。

地球温暖化に対する理解から行動への変容

- 地球温暖化について、多くの市民や事業者が身近な問題として危機感を抱いてはいるものの、自らの課題として捉え、積極的に行動する機運までには至っていない状況にあると考えられます。



基本的方向

- I 省エネルギーの推進や電気自動車等への転換、健全な森林づくりによる吸収源対策の推進を図るなど、CO₂排出量の削減に取り組むとともに、気候変動により、既に現れている、又は将来想定される自然災害や健康被害などを防止・軽減する適応策の推進を図ります。
- II 太陽光発電システム等の導入やゼロカーボン電力※2のさらなる利用拡大などにより、再生可能エネルギーの地産地消を進めます。
- III 環境学習・環境教育を推進するとともに、市民や事業者等に対してわかりやすい広報啓発を行うことにより、環境問題についての理解を深め、エコスタイルへの転換を推進します。

施策の体系

◆主な取組

- I **CO₂排出量の削減と気候変動の影響への対応**
 - 省エネルギー技術の普及促進 ———— ◆建築物の省エネルギー化の推進
 - 電気自動車等の普及促進 ———— ◆公用車への導入推進 ◆市民・事業者への導入支援
 - 森林整備等によるCO₂吸収源対策の推進 ———— ◆森林整備・保全の推進 ◆都市緑化の推進
 - 気候変動適応策の推進 ———— ◆自然災害や自然生態系に対する影響への適応 ◆市民の生活や健康に対する影響への適応
- II **再生可能エネルギーの地産地消の推進**
 - ゼロカーボン電力への転換 ———— ◆卒FIT※3の有効活用 ◆地域新電力等との連携
 - 市有施設における率先導入 ———— ◆市有施設への導入推進と有効活用 ◆バイオガス※4の地産地消
 - 市民・事業者への導入支援 ———— ◆補助等支援策の実施
- III **エコスタイルへの転換**
 - 環境学習・環境教育の推進 ———— ◆かごしま環境未来館を中心とした環境学習及び協働・連携の推進
 - エコライフスタイルへの転換 ———— ◆市民への広報啓発 ◆シェアリング・エコノミー※5の普及促進
 - エコビジネススタイルへの転換 ———— ◆事業所等との連携

目標指標

このようなまちを目指します!	現況	目標(R8)	算出方法
CO ₂ 排出量の削減率(平成25(2013)年度比)	28.2%	41.0%	
主な指標			
新車販売台数に占める電気自動車等の割合	31.5%	60.0%	市内の自動車販売店への調査
「太陽光発電の普及が進んでいる」と感じる市民の割合	34.5%	46.0%	市民意識アンケート調査
かごしま環境未来館の利用者数	91,945人	130,000人	

市民 みんなで

- ◆ 地球温暖化に対する理解を深め、省エネルギーなど環境に配慮したライフスタイルを実践しましょう。
- ◆ 電気自動車等や太陽光発電などを積極的に導入しましょう。

市民・地域

- ◆ 省エネルギー対策や環境マネジメント※6などに積極的に取り組み、環境に配慮した事業活動を実践しましょう。
- ◆ 太陽光や風力、水力等の再生可能エネルギーを積極的に導入しましょう。
- ◆ 使用電力をゼロカーボン電力に転換しましょう。

事業者・団体等

※1 パリ協定：パリで開催された会議(COP21)で採択された温室効果ガス削減のための新たな国際枠組のこと。
 ※2 ゼロカーボン電力：発電時にCO₂を排出しない又は排出しないと思なされる電力のこと。
 ※3 FIT：再生可能エネルギーで発電した電気を電気事業者が一定価格で一定期間買い取ることを国が約束する制度。

※4 バイオガス：再生可能エネルギーの一つで、生ごみ・紙ごみ等を微生物の働きによって発酵させて発生する可燃性ガスのこと。
 ※5 シェアリング・エコノミー：有形・無形の資源を貸し出し、利用者と共有(シェア)する新たな経済の動きのこと。
 ※6 環境マネジメント：組織や事業者が、自ら環境に関する目標等を設定し、達成に向けて取り組むこと。

策定の趣旨・基本構想
 政策・施策
 2 自然・環境政策
 重点プロジェクト
 地域別計画
 まち・ひと・しごと
 創生基本方針
 SDGs
 個別計画
 目標指標
 資料編



2 循環型社会の構築

施策の目標

資源が循環し、環境負荷が低減される社会を構築します！

現状と課題

家庭・事業系ごみの減少傾向の鈍化

- 家庭及び事業系のごみ量は、これまで各種施策の取組により、減少傾向にありましたが、近年横ばいで推移しています。
- 清掃工場に搬入されるごみに、古紙類等の資源物や産業廃棄物が混入しているなど、分別がなされていないものがみられます。

プラスチック容器類等の消費量の増加

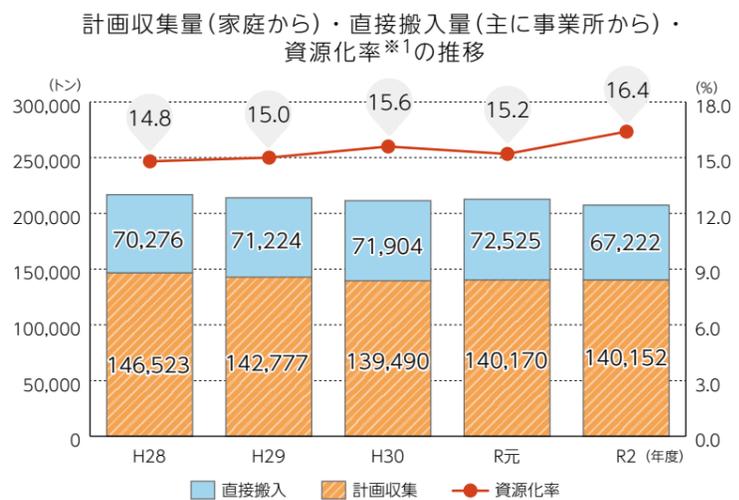
- 飲料カップなどのプラスチック容器類等は、便利なライフスタイルへの移行とともに消費量が増加しています。
- プラスチック容器類等の不適正な処理による河川等への流出は、海の生態系に影響を及ぼす海洋プラスチック問題の要因ともなっています。

ごみ出しが困難な高齢者等の増加

- 高齢化の進行等により、家庭から排出されるごみ・資源物をごみステーションまで運ぶことが困難な方が増加することが見込まれます。

産業廃棄物の不法投棄や不適正保管

- 不法投棄や排出事業者による不適正保管がみられます。
- 産業廃棄物の資源化は進んでいますが、資源化されたりリサイクル製品の利活用の促進を図る必要があります。



基本的方向

- I 3Rの推進による資源の有効活用や食品ロス^{※2}の削減などについて市民・事業者への意識啓発を図るとともに、プラスチックの資源循環への取組を進めます。
- II 効率的で超高齢社会等に対応した収集・運搬やごみステーションの美化の推進、不適正処理の防止等に向けた監視・指導の強化に取り組みます。
- III 清掃工場においては、エネルギー源としての廃棄物の有効利用や高効率発電の推進を図ります。

施策の体系

- I **3Rの推進**
 - 減量化・資源化の推進
 - ◆広報啓発の充実と市民団体等への活動支援
 - ◆資源物の有効活用の推進
 - プラスチック資源循環への取組
 - ◆ワンウェイプラスチック^{※3}の排出抑制等
 - ◆海洋プラスチック問題に関する意識啓発
- II **廃棄物の適正処理の推進**
 - 超高齢社会等に配慮した収集・運搬の推進
 - ◆効率的な収集・運搬の推進
 - ◆高齢化の進行等に伴う支援
 - 安全で効率的な処理・処分
 - ◆施設の適正な維持管理
 - 監視・指導体制の強化
 - ◆指導員の設置等
- III **エネルギー源としての廃棄物の有効利用**
 - バイオガスの有効利用と高効率発電の推進
 - ◆南部清掃工場(バイオガス施設・高効率発電施設)の運営
 - ◆北部清掃工場基幹的設備改良

目標指標

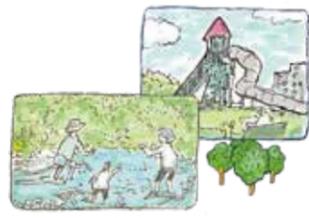
このようなまちを目指します!	現況	目標(R8)	算出方法
3Rをすべて実践している市民の割合	26.3%	40.0%	市民意識アンケート調査
主な指標	現況	目標(R8)	算出方法
資源化率	16.4%	21.8%	市ごみ量統計
不法投棄確認件数	200件	145件	
ごみ1トン当たりの発電量	416kWh/t	469kWh/t	北部・南部清掃工場の年間ごみ発電量合算値

市民みんなで

- 市民・地域**
 - ◇簡易包装や耐久性に優れた商品の購入など、ごみの減量化や資源物の分別に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルを実践しましょう。
 - ◇ワンウェイプラスチック製品の使用削減に努めましょう。
- 事業者・団体等**
 - ◇ごみの減量化に努めるとともに、排出者責任に基づき、適正に処理しましょう。
 - ◇リサイクル製品の積極的な活用等により、環境負荷の低減に努めましょう。

※1 資源化率：排出されたごみ・資源物に占める資源化されたものの割合のこと。
 ※2 食品ロス：まだ食べることができる食品が廃棄されてしまうこと。
 ※3 ワンウェイプラスチック：通常、一度使用した後にその役目を終える、使い捨てプラスチックのこと。

策定の趣旨・体系図
基本構想
政策・施策
2 自然・環境政策
重点プロジェクト
地域別計画
まち・ひと・しごと創生基本方針
SDGs
個別計画
目標指標一覧
資料編



3 人と自然が共生する 都市環境の構築

施策の目標

豊かな生物多様性のもと、人と自然がふれあうまちを創ります！

現状と課題

生物多様性を損なう要因への対応

- 開発などの人間活動や地球温暖化、外来種の侵入などによる影響が生物多様性を保全する上での課題となっています。
- 生物多様性の重要性に対する市民や事業者の意識の高揚を図り、具体的な行動につなげていくことが必要です。

緑の保全・創出と次世代への継承

- 人と自然が共生する環境や景観の形成、余暇活動の場の提供など、さまざまな役割を担っている緑が、市街化区域では少ない状況となっています。
- 都市内に残る緑を保全するとともに、新たな緑を創出し、緑豊かな環境を次世代に継承していく必要があります。

公園利用者の多様なニーズへの対応

- 市民1人当たりの都市公園面積は全国平均に比べ依然として低い水準にあり、今後も引き続き、利用者の視点に立った多様なニーズに対応した公園づくりを進め、公園緑地の充実を図っていく必要があります。

屋上・壁面緑化面積の推移



市民との協働による緑化活動



武岡公園整備予定地からの眺望



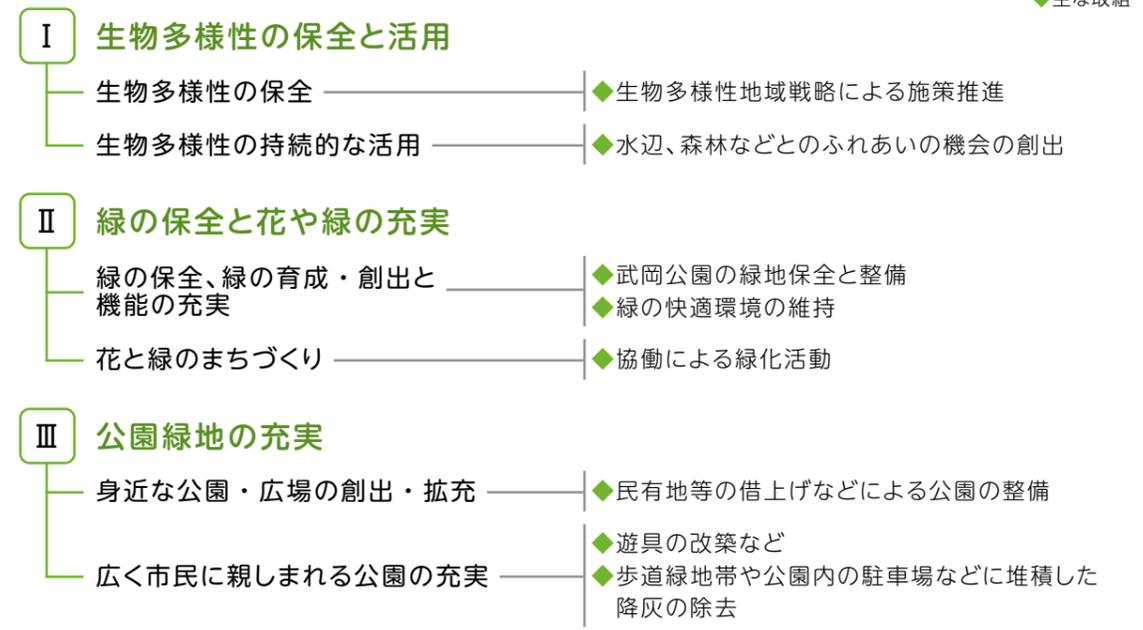
自然百選(平田の里山)



基本的方向

- I 自然共生社会を築くため、市民や事業者等と連携し、自然環境の保全や自然とのふれあいの創出、持続可能な利用などを推進します。
- II 市民や事業者等との協働による緑化活動の仕組みづくりを進め、緑の保全や創出に取り組むことにより、花と緑で彩るまちづくりを推進します。
- III 公園緑地の調和のとれた配置・拡充やすべての人にとって利用しやすい公園づくりに取り組みます。

施策の体系



目標指標

このようなまちを目指します!	現況	目標(R8)	算出方法
「緑や水辺などの自然とのふれあいの場や機会がたくさんある」と感じる市民の割合	66.0%	73.0%	市民意識アンケート調査
主な指標	現況	目標(R8)	算出方法
「かごしま生きものラボ」を授業等で活用している小学校の割合	61.7%	89.0%	市内の全小学校へのアンケート調査
屋上・壁面緑化の整備面積	17,348m ²	18,300m ²	公共、民間施設の屋上緑化及び壁面緑化の整備面積の合計
市民1人当たりの都市公園面積	7.9m ² /人	8.1m ² /人	都市公園面積/人口

市民みんなで

- 市民・地域
 - ◇ 自然や生きものとの関わりについて関心を持ち、自然環境の保全や自然とのふれあいに積極的に取り組みましょう。
 - ◇ 地域の公園や緑をみんなで大切に守りましょう。
- 事業者・団体等
 - ◇ 自然環境に配慮した事業活動を行うとともに、自然保護活動へ参加・協力しましょう。
 - ◇ 花や緑で潤いと彩りのある環境づくりに努めましょう。

策定の趣旨・体系図
基本構想
政策・施策
2 自然・環境政策
重点プロジェクト
地域別計画
まち・ひと・しごと創生基本方針
SDGs
個別計画
目標指標一覧
資料編



4 生活環境の向上

施策の目標

きれいで快適な生活環境を目指します！

現状と課題

化学物質による環境リスクへの対応

- 大気等の常時監視や発生源の規制・指導などの取組により、大気、水質は良好な状態が保たれています。
- 安全で快適な生活環境を保全するためには、アスベスト飛散防止や化学物質による環境リスクの低減などに向けた取組が必要です。

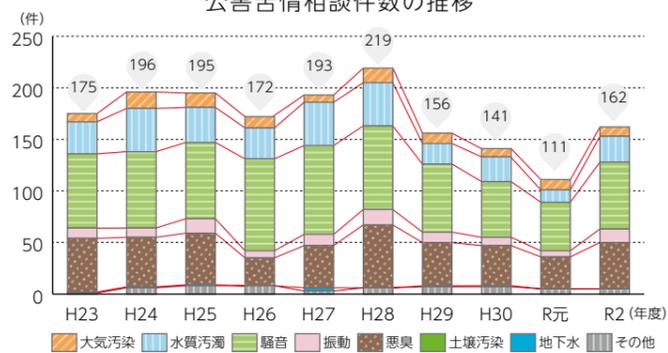
住みよい生活環境のさらなる推進

- 市民や団体等による市民一斉清掃や美化啓発活動等により、まちの環境美化が図られています。
- ごみのポイ捨て防止や衛生害虫駆除による、住みよい生活環境づくりをさらに推進する必要があります。
- 犬猫等については、生活環境の向上と殺処分数の減少のため、適正な飼い方などに関する意識啓発を図る取組が必要です。

墓地のあり方の変化

- 継承者が不在となった管理の行き届かない墓への対応や参道整備などの環境整備を行う必要があります。

公害苦情相談件数の推移



大気汚染常時監視測定局(市役所局)



クリーンシティかごしま



唐湊墓地



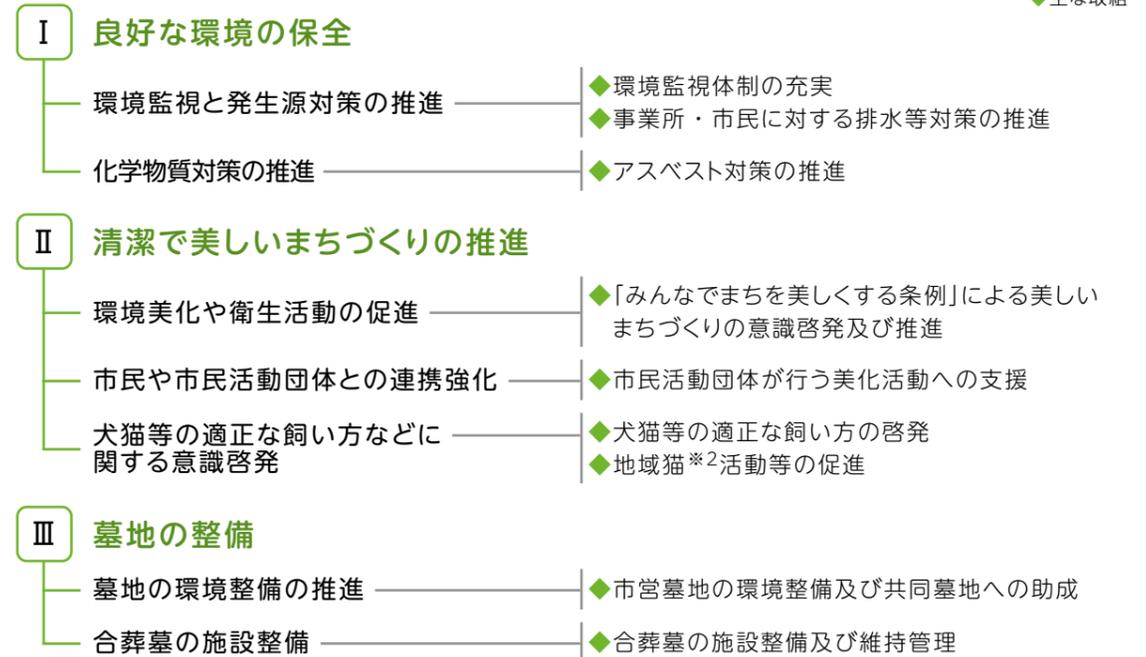
基本的方向

- I 環境監視体制の充実や発生源対策に取り組むとともに、アスベストなどの化学物質対策を推進します。
- II 環境美化や衛生活動に対する市民意識の高揚に努め、市民総参加による美しいまちづくりをさらに推進します。また、人と動物の調和のとれた共生社会を目指す取組を推進します。
- III 市営墓地内の施設改良や環境整備を行い、墓地使用者の利便性の向上を図るとともに、合葬墓^{※1}の整備を図ります。

◆主な取組



施策の体系



目標指標

このようなまちを目指します!	現況	目標(R8)	算出方法
「きれいで快適なまち」と感じる市民の割合	68.5%	74.5%	市民意識アンケート調査
主な指標	現況	目標(R8)	算出方法
公害苦情相談件数	162件	154件	
まち美化地域指導員の認定数	3,234人	4,074人	
過去1年間にまち美化活動に参加したことがある市民の割合	40.3%	50.0%	市民意識アンケート調査

市民みんなで

- 市民・地域**
 - ◇環境保全活動や美しいまちづくりに向けた活動に積極的に参加しましょう。
 - ◇犬猫等を適正に飼養しましょう。
- 事業者・団体等**
 - ◇アスベストの飛散防止対策を適正に行うなど、環境リスクの低減に取り組みましょう。
 - ◇地域と連携して、まちの美化活動に取り組みましょう。

※1 合葬墓：広く共同で使用できる墓のこと。
 ※2 地域猫：地域の有志が、一定のルールに従って飼養管理する一代限りの野良猫のこと。